

3 学年 社会科 ガイダンスシラバス

担当：竹内 賢斗 木南 考洋

1. 社会科を学ぶねらい

日常生活の「なぜ」を大切に、社会のことを学んでいきます。現代社会は、グローバル化・情報化がさらに加速し、変化の激しい社会となっています。このような社会において、社会とどのように関わるか、よりよい人生を送ることができるかを考える必要があります。また、日本や世界の歴史、文化を尊重し、多様性、人権について学ぶことが大切です。

社会的事象に対して、見方・考え方を働かせ、課題を解決する学習を通して、主体的によりよい社会を形成していく力を身に付けていきます。

2. 学習方法

- ・予習は、次の授業で学習する教科書のページを読み、大まかな流れを理解する。
- ・授業中は「なぜ」「どうして」を大切に自分で考えたり、説明を聞いたりして、「分かった」と思えることを増やしましょう。
- ・授業中は、質問に対して積極的に考え、積極的に発表しましょう。
- ・復習は、授業のノートや振り返りシート、ワーク等を活用しましょう。
- ・ワークを進める時は、自分の力で解いてみて、間違えたものをくり返し練習したり、先生に質問したりしましょう。

3. 持ち物について

公民 ・教科書 ・ファイル(歴史用) ・資料集 ・タブレット
歴史 ・教科書 ・ファイル(歴史用) ・資料集 ・タブレット

4. 学習の評価と方法

①知識・技能

- ・各分野の基礎的な内容を理解しているか
- ・様々な知識を、整理して理解しているか
- ・統計資料、グラフ、図表等を読み取る力があるか
- ・書籍やインターネットを活用して、課題の解決策を調べることができるか

評価方法 ・定期テスト ・小テスト ・振り返りシート ・レポート等の提出物
・授業内発言など

②思考・判断・表現

- ・社会的な事象に対して多面的、多角的に考察し、それをまとめることができるか
- ・課題に対して社会的な見方、考え方を働かせて追究しているか
- ・課題の解決に向けて思考・判断し、それらをまとめたり、説明したりできるか

評価方法 ・定期テスト ・小テスト ・振り返りシート ・レポート等の提出物
・授業内の話し合いの様子など

③主体的に学習に取り組む態度

- ・しっかりと説明を聞き、ノートやワークシートにまとめようとしているか
- ・提出物(授業で出された課題など)を期限内に提出しているか
- ・社会の出来事に関心を持ち、追究しようとしているか

評価方法 ・定期テスト ・ノート、ワークシート、振り返りシート等の提出物点検
・授業や話し合いへの参画度など

5. 学習の評価と方法

「知識・技能」

- ・小テストはテストによって満点が違う場合でも、得点率を参考にするため、10点満点のテストも30点満点のテストも同じ重さとなる。
長期休業明けに前学期の振り返りテストを行う。
- ・振り返りシートでは授業内で指示した語句の意味を理解し、知識として身につけているのかを確認する。
- ・授業内での質問に対して、正しい語句を発言できている場合加点する。
※授業内の発言で誤った語句を解答しても減点は行わない。

「思考力・判断力・表現力」

- ・小テストの中では記述問題や正誤判定問題、資料読み取り問題がこの観点に該当する。テストによって満点が違う場合でも、得点率を参考にするため、10点満点のテストも30点満点のテストも同じ重さとなる。
- ・振り返りシートでは、授業の要点を理解し、自分なりの言葉でまとめられているかを確認する。
- ・プレゼンテーションでは、より学習した内容を伝わりやすく工夫し表現しているかを評価の対象とする。
- ・ファイル提出において、記述問題の解答の内容で評価する。評価は資料や前後の事象を踏まえたうえで、自分なりの考えを書けているかに着目する。
- ・授業内の話し合い活動で資料や授業の内容を踏まえて自分なりの考えを話し合っているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」

- ・「知識及び技能」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。
- ・思考力、判断力、表現力の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。
- ・授業に意欲的に取り組み、意見を積極的に発言しようとする。
- ・提出物は提出しており、かつ課題を十分に達成している場合 A 評価、提出物を提出している場合 B 評価、提出していない場合 C 評価となる。なお、提出物の提出が1日遅れるごとに減点する。
※提出物の提出が遅れる旨を前もって伝達している場合、考慮する。

5 年間学習計画
竹内担当授業

学期	月	単元名 学習の内容	学習の目標	評価方法
1	4	歴史 第5章 開国と近代日本の歩み 4節 日清日露戦争と近代産業	歴史 19世紀頃～20世紀前半までの歴史では、日本の近代の特色を世界の動きに関連に着目しとらえる。 第二次世界大戦～冷戦終結ごろまでの歴史では、日本の現代の特色を世界の動きとの関連に着目しとらえる。 公民 現代社会の特色や現代社会における文化の意義や影響を理解する。現代社会をとらえる見方や考え方の基礎を身につける。 我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることについての意義を、多面的・多角的に考察し、表現する。	定期テスト 小テスト レポート 提出物 その他の課題 など
	5	第6章 二度の世界大戦 1節 第一次大戦と日本 2節 大正デモクラシーの時代		
	6	3節 世界恐慌と日本の中国侵略		
	7	4節 第二次世界大戦と日本		
		第7章 現代の日本と世界 1節 戦後日本の出発 2節 冷戦と日本の発展 3節 新たな時代の日本と世界		
		公民 第1章 現代社会と私たち 第2章 個人の尊重と日本国憲法		
2	9	第2章 個人の尊重と日本国憲法 続き	個人、企業、国や地方公共団体の経済活動を通し、経済活動のさまざまな課題に着目し、自ら考えようとする態度を身につける。 民主主義の基礎となる考え方や国や地方公共団体のしくみを通し、民主主義に関する理解を深める。	定期テスト 小テスト レポート 提出物 その他の課題 など
	10	第4章 わたしたちの暮らしと経済 第3章 現代の民主政治と社会		
	11	第3章 現代の民主政治と社会		
	12			
	9	第7章 現代の日本と世界 1節 戦後日本の出発		
	10	2節 冷戦と日本の発展 3節 新たな時代の日本と世界		
	11	公民 第4章 わたしたちの暮らしと経済		

			に着目し、自ら考えようとする態度を身につける。	
3	1 2 3	受験対策 5章 地球社会と私たち	国際社会に対する理解を深め、国際社会における日本の役割について考える。よりよい社会を築いていくために解決しなければならない課題を追究し、自分の考えをまとめられるようになる。	定期テスト 小テスト レポート 提出物 その他の課題 など

※生徒の学習状況や定着状況により、教材や順序を変更する場合があります。

木南担当授業

学期	月	単元名 学習の内容	学習の目標	評価方法
1	4 5 6 7	公民 第1章 現代社会と私たち 第2章 個人の尊重と日本国憲法	公民 現代社会の特色や現代社会における文化の意義や影響を理解する。現代社会をとらえる見方や考え方の基礎を身につける。 我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることについての意義を、多面的・多角的に考察し、表現する。	定期テスト 小テスト レポート 提出物 その他の課題 など
2	9 10 11 12	第2章 個人の尊重と日本国憲法 続き 第3章 現代の民主政治と社会	民主主義の基礎となる考え方や国や地方公共団体のしくみを通し、民主主義に関する理解を深める。	定期テスト 小テスト レポート 提出物 その他の課題 など
3	1 2 3	受験対策 5章 地球社会と私たち	国際社会に対する理解を深め、国際社会における日本の役割について考える。よりよい社会を築いていくために解決しなければならない課題を追究し、自分の考えをまとめられるようになる。	定期テスト 小テスト レポート 提出物 その他の課題 など

※生徒の学習状況や定着状況により、教材や順序を変更する場合があります。